

## 第1回印西市補助金等評価委員会会議録

平成25年7月24日(水)  
印西市役所 204会議室

開 会 13時30分

### 出席委員

神沢 學  
関川 弘和  
深堀 哲夫  
藤澤 進  
増田 葉子

### 事務局

市長  
武藤 行政管理課長  
坂巻  
鈴木  
稲富

市長から各委員へ委嘱状の交付

《市長挨拶》

市長退席

委員自己紹介

事務局職員紹介

事務局 第1回印西市補助金等評価委員会を開催いたします。初めに委員長の互選を行います。指名推薦ということでいかがでしょうか。

(異議なしとの声あり。)

事務局 どなたか、推薦がございますか。

委員 藤澤委員がよろしいのではないのでしょうか。

事務局 藤澤委員という推薦がございましたが、その他に推薦はございますか。

事務局 無いようですので、藤澤委員に当委員会の委員長をお願いしたいと思えます。ここで委員長からご挨拶をお願いいたします。

委員長 <挨拶>

事務局 ありがとうございます。それでは、ここで印西市補助金等評価委員会設置要綱第6条の規定によりまして、会議の議長を委員長をお願いいたします。

<議長交代>

委員長 それでは、議長を務めさせていただきます。よろしくをお願いいたします。まず、副委員長の互選を行います。どなたか推薦は、ございますか。

委員 神沢委員がよろしいのではないのでしょうか。

委員長 神沢委員という推薦がございましたが、その他に推薦はございますか。

委員長 無いようですので、神沢委員に当委員会の副委員長をお願いしたいと思えます。

続きまして、議事の会議の運営方法についての今後の会議開催日程について事務局より説明をお願いいたします。

事務局 次回以降の会議については、それぞれの補助金を担当している課の職員を呼んでヒアリング形式で行う予定であります。また、日程につきましては、本日配付した日程表のとおり会議室を確保しています。また、会議は15回予定しています。

委員 変更は、可能なのか。

事務局 可能ですが、なるべく早く申し出ていただきたいと思います。

委員 8月29日は、都合が悪い。

事務局 次回8月19日は、開催を決定させていただきまして、8月29日は、中止させていただき9月2日の開催とさせていただきたいと思えます。

以降につきましては、次回の会議の際に調整させていただきたいと思えます。

委員長 次に会議の公開についてを議題とします。事務局の説明をお願いします。

事務局 審議会等につきましては、印西市市民参加条例第11条第4項の規定により、原則公開となっております。従いまして当委員会につきましても公開としたいと考えております。また、会議録につきましても公開と考えております。

委員長 何か質問はありますか。

委員 会議日程の周知はどのように行うのか。

事務局 ホームページで行います。

委員長 ほかに質問はありますか。ないようでしたら、次に評価方法について事務局の説明をお願いします。

事務局 皆様に評価をしていただくのは、平成25年度補助金等評価対象一覧に記載のある

補助金等でございます。これは、国費及び県費のみの補助金を除いたものでございます。

次に、補助金等の評価方法につきましては、平成25年度改訂印西市における補助金等の在り方に基づき評価をお願いします。

また、補助金の所管課には補助金等評価調書を作成してもらいあらかじめ委員の皆様様に配付する予定でおります。また、質問事項がありましたら、あらかじめ事務局までお知らせいただければ、所管課で回答を会議の際に用意させたいと考えております。

委員の皆様には、補助金等評価調書を作成していただきたいと考えております。これにつきましては、会議終了後2、3日を目途に回収したいと考えております。回収した補助金等評価調書につきましては、委員長と事務局で取りまとめまして、皆様様に報告する予定です。

委員長 何か質問がありますか。

委員 平成25年度補助金等評価対象一覧に65項目の補助金が掲げられているがこれは、どのように抽出したのか？

事務局 国費及び県費のみの補助金等を除いたものすべてを評価の対象としております。

委員 委員会としての評価が廃止となった場合は、その補助金は、廃止となるのか？

事務局 委員会としての意見としては、廃止となりますが、それを最終的に決定するのは市長となりますので、即廃止ということではございません。

委員長 事業仕分けの委員会ではないので、重要なのは、評価の内容であると思います。どこがダメなのか、どこを変えればいいのか、そのようなところをはっきりさせればよいと思います。

委員 どのように、この委員会を進めていくのか？

事務局 皆様から提出していただいた補助金等評価調書を委員長と事務局で取りまとめ、その後、委員の皆様にご確認いただきたいと思っております。

委員長 結論よりも、それに至る、理屈、考え方が大事であると思っております。

委員 1つの補助金等について30分で議論をして、その後評価をしなければならない。12月12日にとりまとめをすることとなっているが、遅れてしまうことはできないのか？

事務局 あくまでも目安であるが、予算への反映ができなくなってしまう。

委員 委員会として、それぞれの補助金について、継続や廃止などの方向性を示していくのか？

委員長 前回の委員会の時もそうであったが、それぞれの補助金について方向性を示している。委員の皆様の見解が違う時があるので少数意見についても意見欄に記載していました。

委員 前回の20年度の委員会の意見を踏まえて、その効果はどうだったのか？予算上の効果はどのくらいだったのか？効果があまり出ていないようなら、委員会の意見としてははっきりと、方向性を示したほうがよいのではないかと？

委員 前回の時も、委員会として、それぞれの補助金について方向性は示している。合併

により状況が変わっているとかいろいろ理由はあるだろうが、委員会の意見を反映していない補助金はあると思っている。それを確認するのも今回の委員会の役目の一つであると思っている。

委員 各委員が作成した補助金等評価調書が違う内容のものであった場合、委員長と事務局で取りまとめができるのか？委員会として集約できるのか？委員会としての意見を集約するために、会議のはじめか終りにそのための時間を確保するのがよいのではないか？

また、評価するに当たっては、担当課から提出される資料が適切なものでなければならない。実績や効果については、できるだけ数値化してほしい。

委員長 補助金等調書の裏面の補助制度の目的、効果、公益性の欄が重要であると思う。

事務局 補助金等調書の裏面の補助制度の目的、効果、公益性の欄については、補助金等の所管課から改めて、なるべく数値化したものを提出してもらい、委員の皆様配布したいと思います。

委員 補助金等調書の裏面の補助制度の目的、効果、公益性の欄について標準化又は統一化していただきたい。算出根拠等を指示していただきたい。また、事前に配付していただけるのか

事務局 メール又は郵送で事前に配付したいと考えております。

委員長 ほかに何かありますか？

委員 5人の委員の意見が一致すればよいが、一致しない場合はどのように委員会の意見としてまとめるのか？非常に難しい作業になるのではないか？前回の委員会の委員をやっている委員長と委員の方の意見を伺いたい。

委員長 賛成、反対の意見が必ず出てくると思います。その場合は両論併記や少数意見として意見書の中に記載していきたいと考えています。理屈の部分が重要であると考えています。

委員 長年補助金を交付し続けていると、形骸化や時代にそぐわない補助金が継続されている場合がある。民間の場合は、売り上げなどの指標があるが、市の場合は、必要性に関しそれぞれ意見が違ふと思う。市がやるべきことなのか、補助金を交付して行うことなのか、すべて民間が行うことなのか、判断する必要がある。委員会の意見がまとまれば、市としても意見を利用して、予算等に反映しやすくなるのではないかと思う。また、多数の人たちのための補助金なのか、少数の人たちの補助金なのか、このあたりも評価の基準になると思う。

委員 前回の結論は、事務局でまとめているのか？

事務局 委員会としてまとめている。

委員長 委員の皆様からの意見を委員長と事務局がまとめ、それを委員の皆様確認をしていただいている。

委員 取りまとめたものを市長に答申した。あとは、それをどのように反映したかは市の考え方でしょう。

委員長 その後の評価を行うのは、議会であり市民であると思う。

委員 前回の委員会の意見欄、これはもっと簡潔に記載できないのか？

委員長 少数意見を記載しなければ、簡潔になるとは思うが、この委員会は事業仕分けではないので、多数決で委員会の意見とはせず、少数意見も意見欄に記載している。したがってこのような表現となってしまう。

委員 市長にとってわかりやすくするために、拡大する補助金と、縮小する補助金をわかりやすく表現するようにしたらどうなのか？

委員長 この委員会からの答申を利用するのは、財政課だと思う。予算編成の際の理論武装の根拠になるのだと思います。ですから、しっかりと表現したいと考えている。

委員 このままの表現では、読んでもらえないのではないかと考え、意見を述べた。

委員長 ほかに何かありますか。

委員 前回の委員会の際に担当課から提出してもらった調書があるのではないかと。それを参考に担当課に作成してもらったらどうか？

委員長 前回の委員会の際は、ヒアリングを主に行い、調書の作成は、なかったと思う。

委員 前回の委員会の際の資料を出してもらって今回の評価の参考にしたいと思う。

事務局 前回の委員会では、補助金等調書の裏面の補助制度の目的、効果、公益性の欄はありませんでした。今回、新たに設けたものでございます。

委員長 前回は、ヒアリングの際に効果等について、聴取していたと思う。

委員 補助金等調書の裏面の補助制度の目的、効果、公益性の欄の目的については、補助金交付要綱を読めばわかるので、必要ないと思う。それよりも、補助金の効果と3年後の補助金がどうなっているのかを知りたいので、その部分を担当課に書いてもらいたいと思う。

委員長 目的については、なぜこの補助金があるのかをしっかりと認識するためにも必要だと思う。

委員 要綱とは何か？

事務局 市のホームページに例規集というものが公開されています。その中にそれぞれの補助金の交付要綱が掲載されています。また、3年後の補助金がどうなっているのかにつきましては、ヒアリングの際に担当課から説明させたいと考えております。

委員 ヒアリングの際に添付されるものは何か？

事務局 補助金交付要綱、実績報告書、決算書類となります。

委員長 ほかに何かありますか。無いようですので、その他を議事とします。事務局から何かありますか

事務局 次回の日程

次回の資料の送付

委員報償

メールアドレス について説明

委員長 以上で第1回補助金等評価委員会を終了します。ご協力ありがとうございました。

平成25年7月24日に行われた第1回印西市補助金等評価委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

会議録署名委員 藤澤 進

会議録署名委員 神沢 學